

玉川クリニック



I 概要

所在地 〒158-0094
東京都世田谷区玉川3-15-17
玉川高島屋S.C西館
TEL 03-3709-3281

開設年 昭和44年
所長 長 晃平
標榜科目 内科、眼科、皮膚科、
人間ドック・各種健康診断

●各種認定医制度に基づく認定項目

2022年3月常勤医

氏名	認定機関	認定資格
長 晃平	日本内科学会	総合内科専門医／指導医
	日本呼吸器学会	専門医／指導医
	日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医／気管支鏡指導医
	日本病院会	病院総合医
	各都道府県	身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害の診断)
難病指定医		
小 澤 志 朗	日本内科学会	総合内科専門医／指導医
	日本呼吸器学会	専門医／指導医
	日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医／気管支鏡指導医
	日本医師会	認定産業医
	各都道府県	身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害の診断)
鳴 山 文 子	日本内科学会	認定内科医
	日本消化器病学会	専門医
	日本消化器内視鏡学会	専門医
	日本消化管学会	胃腸科専門医／指導医
	日本大腸肛門病学会	専門医／指導医
	日本医師会	認定産業医
川 口 笛 美	日本眼科学会	専門医

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

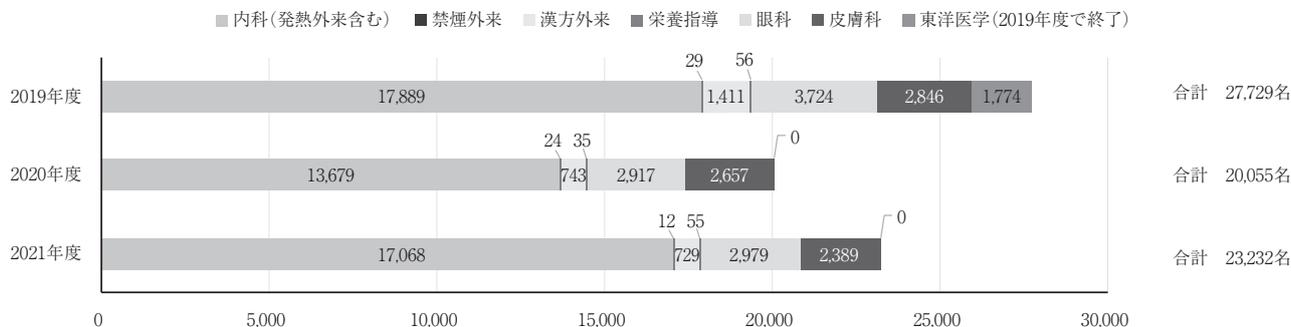
佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

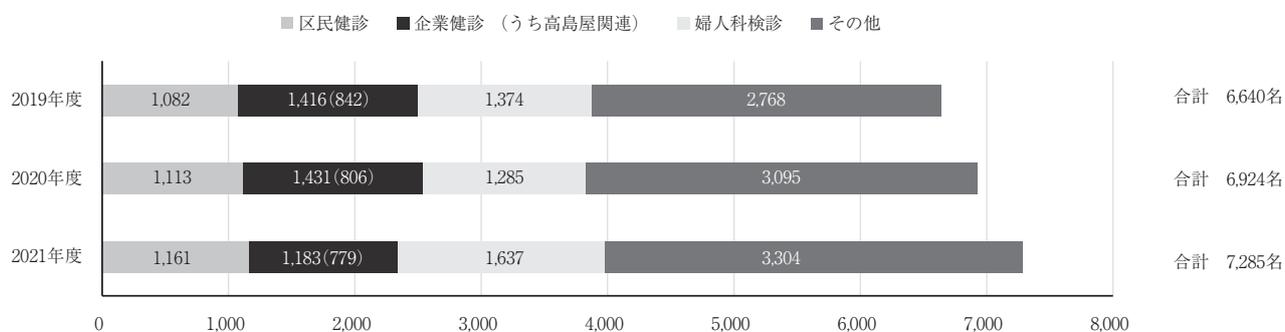
日産厚生会診療所

Ⅱ クリニカルインディケーター

●患者統計



●健診受診者統計



※婦人科検診(乳がん・子宮がん検診)

※その他(人間ドック・扶養者健診・法令健診・予防接種等)

Ⅲ 業務実績

スタッフ(2022.3現在)

医 員：常 勤3名 長 晃平(所長/内科)、 視機能訓練士：非常勤1名 吉田栄子
 鳴山文子(内科医長)、 事 務：常 勤3名 鍵小野 宏(事務長)、
 川口笛美(眼科医長) 吉井百合(係長)、
 非常勤1名 小澤志朗(名誉所長/内科) 山田奈緒子
 看 護 師：常 勤3名 佐々木優子(師長)、 非常勤3名 瀧澤典子、石井恵美、
 今中智湖、永森優子 植松香織
 放 射 線 技 師：非常勤1名 佐伯華淑

活動状況

1.はじめに

10ヶ年、当クリニックを率いられた小澤志朗医師が2021年6月に所長職を勇退された。在任中、電子カルテ、腹部超音波、呼気NO検査、大腸がん健診、胃カメラ開始、子宮がん検診、乳がん健診、特養ホーム往診、

コロナ発熱外来、社会的PCR(2020年11月)等多くの事業の導入と鍼灸を撤退(2019年11月)し、経営の安定化に貢献された。後任の者として、改めて本紙面を借り謝意申し上げる。

2.医師診療体制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
内 科	長 嶋山 小澤(2、4)	長 嶋山 小澤	休 診 日	長 嶋山	長 嶋山 小澤	長(1、3) 嶋山(2、4) 小澤(2、4AM) 加藤(1、3、5AM) 石田(2、4漢方)	田村(1) 長谷川(2) 鳥海(3) 安田(4) 坂本(5)
眼 科	川口	川口		川口	川口	川口	川口(AM)
皮 膚 科		東邦大(PM)		東邦大(PM)			東邦大(PM)
乳 腺 科					原田(1、3PM)	大石(3PM) 癌研(1、2、4PM)	
婦 人 科		白井(PM)			大鷹(1、3PM)		
整 形 外 科				佐藤(2、4PM)			

3.患者数および収支

2020年2月より、新型コロナウイルス感染症は第4波(2021年4月)、第5波(2021年7月)、第6波(2022年1月)と流行を繰り返したため、発熱外来の継続とともに、公益活動としてコロナワクチンの個別接種を開始した。なお、通年の受診数、収支は下記の通りであった。一般診療の対20年度比では21,312/19,706人で、1,606人(+8.1%)の復調傾向、コロナ前19年度比では21,312/27,729

人で、△6,417人(△23.1%)。鍼灸の計画的縮小1,774人を除いても△4,643人(△17.9%)の減少であり、コロナの影響と考えた。コロナ発熱外来は年間1,920人(陽性514人(26.8%))の受診者で、一般診療の減少を補填した。コロナワクチンは1回目168人、2回目168人、3回目164人に個別接種した。総収益増加は発熱外来(32百万円)、社会的PCR(33百万円)が大きく寄与した。

	総数	一般診療	健診診断	発熱外来
2019年度	34,369人	27,729人(鍼灸1,774含)	6,640人	
2020年度	26,979人	19,706人(特養1,500含)	6,924人	349人(11月-3月)
2021年度	30,517人	21,312人(特養0鍼灸0)	7,285人	1,920人

	総収益	総支出	収支
2019年度	242百万円	226百万円	16百万円
2020年度	240百万円	231百万円	9百万円
2021年度	301百万円(うち補助金1.6百万)	278百万円	23百万円

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

4. 産業医としての職務

玉川高島屋、東神開発株式会社、センチュリー&カンパニーの産業医としての業務

- ①毎月安全衛生委員会に出席(緊急事態宣言期間中は書面)。
- ②就業意見書作成152件、ストレスチェックの実施および高ストレス者に対する面接指導5件。
- ③ストレスによるうつ病、適応障害患者、病気療養中患者に対し職場復帰後の支援。
- ④玉川高島屋社員を対象に行う予定の健康セミナー講演はコロナ禍のため中止。
- ⑤東神開発社員向けに「新型コロナウイルス感染症：第6波に備えて」の配信講演(11月)。
- ⑥SARS-CoV-2感染予防対策に関し産業医として担当者と頻回の話し合い。

5. 設備面

- 1)胃ファイバースコープ更新(2021年4月)
- 2)眼圧測定器更新(2021年6月)
- 3)患者カード払い機導入の決定(2022年5月より運用)
- 4)健診受付の分離の実施延期(発熱外来を優先)

6. 人事面

- 長 晃平医師が小澤志朗医師の後任として所長就任(6月)
永森優子看護師が非常勤より常勤勤務(6月)
大鷹美子医師(婦人科)が非常勤として診療開始(6月)

今後の目標

- 1.2年間内科常勤された嶋山文子医師の6月退職に伴う内科診療の再編。非常勤医での対応となるが、6月より糖尿病外来を開設する等、工夫を重ねる。オンライン診療の導入も取り組みたい。
- 2.発熱外来をポストコロナ時代にどのような位置づけで運用するか検討する。
- 3.健診部門は精度向上、受診勧奨者への積極的介入により、健診の成果向上を図る。
- 4.婦人科、乳腺の健診体制の向上を2021年度同様に目指したい。